

日本栄養・食糧学会中部支部

平成20年度第2回評議員会 次第

日時 平成20年11月15日(土曜日) 12:00から12:40まで
場所 名古屋大学 豊田講堂第1会議室
出席者 青木直人 池田彩子 伊藤宜則 太田好次 小田裕昭 加賀孝之
川岸舜朗 岸 恭一 斉藤慎一 下村吉治 杉山公男 辻岡和代
津田孝範 長岡 利 早瀬和利 堀尾文彦 馬路泰蔵 松尾真砂子
松田 幹 村上太郎 森田達也 山下かなへ 横越英彦
合計23名 (敬称略・ア行エ順)

議 題

- I 審議事項 ページ
1. 平成20・21年度 支部評議員について (早瀬 支部長)2
 2. 平成20年度 本部評議員・参与について (早瀬 支部長)2
 3. 平成20年度 事業計画 (池田 庶務幹事)4
 4. 中部支部細則の一部改正について (早瀬 支部長)6
 5. 支部年度計画・報告の承認時期変更について (早瀬 支部長)7
 6. 平成21年度 事業計画 (池田 庶務幹事)9
 7. 平成21年度 予算案 (辻岡 会計幹事)10
 8. その他
- II 報告事項
1. 学会活動強化費および大幸財団助成について (早瀬 支部長) 11
 2. 終身会員推薦について (早瀬 支部長)
 3. 理事会報告 (下村 理事)
 4. その他

(議長 早瀬 支部長)

平成 20・21 年度 支部評議員(案)ならびに本部評議員・参与

(敬称略)

平成 20 年 11 月 15 日

名誉会員 4 名

糸川 嘉則 武藤 泰敏 村松敬一郎 安本 教傳

終身会員 7 名

上野 良光 江川 元偉 小野崎博通 柴田 幸雄 高瀬 幸子
田中 治夫 山本 良子

支部長・理事経験者 9 名

川岸 舜朗 中村 良
垣沼 淳司 ★松田 幹 (名古屋大学)
●☆下村 吉治 (名古屋大学) 山下かなへ
●☆杉山 公男 (静岡大学) ★横越 英彦 (静岡県立大学)
★柘植 治人 (中部大学)

支部長推薦 50 名

青木 直人 (三重大学)	★中島 久男
★青山 頼孝 (名古屋文理大学)	☆中野紀和男 (名古屋経済大学)
☆池田 彩子 (名古屋学芸大学)	中野 昌俊 (名古屋経済大学)
☆石原 健吾 (椙山女学園大学)	☆中村 征夫
伊藤 宜則 (名古屋大学)	<u>長村 洋一 (鈴鹿医療科学大学)</u>
内田 浩二 (名古屋大学)	★早川 享志 (岐阜大学)
江崎 秀男 (椙山女学園大学)	★早瀬 和利 (愛知教育大学)
榎本 俊樹 (石川県立大学)	原 征彦
★大澤 俊彦 (名古屋大学)	藤沢 和恵
太田 好次 (藤田保健衛生大学)	★古市 幸生 (名古屋女子大学)
大森 正英 (東海学院大学)	★堀尾 文彦 (名古屋大学)
★小川 宣子 (岐阜女子大学)	★馬路 泰蔵 (岐阜大学)
★小田 裕昭 (名古屋大学)	★松尾真砂子
小原 章裕 (名城大学)	<u>三宅 義明 (東海学園大学)</u>
小原 郁夫 (愛知学泉大学)	☆村上 太郎 (中京女子大学)
加賀 孝之 (ミツカングループ)	☆村松 宰 (松本大学)
片桐 孝夫 (ポッカコーポレーション)	森田 達也 (静岡大学)
片桐 充昭 (飯田女子短期大学)	盛永宏太郎 (富山短期大学)
☆金丸 義敬 (岐阜大学)	★森脇 久隆 (岐阜大学)
茅原 紘	★横澤 隆子 (富山大学)
●☆岸 恭一 (名古屋学芸大学)	★渡辺 達夫 (静岡県立大学)
☆合田 敏尚 (静岡県立大学)	
☆斉藤 慎一 (静岡県立大学)	
☆佐藤 祐造 (愛知学院大学)	
▲★脊山 洋右 (椙山女学園大学)	支部評議員 70 名
☆田口 寛 (三重大学)	★本部評議員 19 名
辻 とみ子 (名古屋文理大学)	☆本部参与 15 名
★津田 孝範 (中部大学)	●理事 3 名
☆長岡 利 (岐阜大学)	▲顧問 1 名

平成 20 年度第 1 回評議員会からの変更点

支部評議員

1. 元支部長、元理事、名誉会員、終身会員
2. 支部長の推薦により、評議員会での審議を経て総会で承認された満 70 歳未満の支部会員

転入 2 名： 脊山洋右(椙山女学園大学)、長村洋一(鈴鹿医療科学大学)

新任 1 名： 三宅義明(東海学園大学) → **別紙参照**

★本部評議員

1. 平成 20 年度中部支部選出評議員定数は 18 名。
2. 満 70 歳未満で、本部理事は本部評議員を兼ねない。
3. 中部支部では、前年度の参与が評議員となる。ただし、定数に満たない場合は氏名のアイウエオ順で評議員を再任する。

追任 1 名： 脊山洋右(椙山女学園大学)

→ 平成 20 年度中部支部選出評議員は19名となる

本部参与推薦

☆本部参与

1. 栄養科学・食糧科学の分野で優れた業績を有する者
2. 卒後 6 年以上、但し、6 年制課程にあっては卒後 4 年以上
3. 本学会正会員歴 3 年以上
4. 満 70 歳未満の者

候補者 1 名： 森田達也(静岡大学) → **別紙参照**

平成 20 年度 事業計画(案)

平成 20 年 9 月 1 日

1. 支部大会

(1) 第 55 回支部大会

日 時 平成 20 年 7 月 5 日(土) 13:00~16:30

会 場 愛知教育大学 第 1 共通棟 201 教室

日本栄養・食糧学会 受賞講演会

1. 食品成分相互作用による生体内抗酸化機能の増強効果
平成 20 年度学会賞受賞 元 相山女学園大学 山下かなへ
2. 持久運動能力の測定装置開発とその食品栄養学的制御
平成 20 年度奨励賞受賞 相山女学園大学生生活科学部 石原 健吾

シンポジウム「脳機能と栄養 —最近の研究から—」

1. ビタミン A 情報伝達経路による学習・記憶能力制御
東京農業大学応用生物科学部 喜田 聡
2. 運動時エネルギー代謝の中枢性調節
京都大学大学院農学研究科 井上 和生

懇親会 (第 2 福利施設 UP)

(2) 第 56 回支部大会

日 時 平成 20 年 11 月 15 日(土) 13:00~17:00

会 場 名古屋大学 シンポジオン会議室

総 会

中部支部設立 40 周年記念講演会

「タンパク質・アミノ酸栄養学の過去・現在・未来」

1. アミノ酸栄養研究の源流
名古屋大学名誉教授 吉田 昭
2. タンパク質栄養の研究 —40 年の回顧と展望—
中部大学中部高等学術研究所 野口 忠
3. タンパク質・アミノ酸必要量の過去、現在、未来
名古屋学芸大学管理栄養学部 岸 恭一
4. 生理機能物質としてのアミノ酸の重要性
静岡県立大学食品栄養科学部 横越 英彦

懇親会 (ユニバーサルクラブ)

2. 評議員会

(1) 平成 20 年度第 1 回評議員会

日 時 平成 20 年 7 月 5 日(土) 12 : 00～12 : 45

会 場 愛知教育大学 第 1 共通棟 203 教室

(2) 平成 20 年度第 2 回評議員会

日 時 平成 20 年 11 月 15 日(土) 12 : 00～12 : 40

会 場 名古屋大学 豊田講堂第 1 会議室

3. 40 周年記念事業

第 56 回支部大会において、中部支部設立 40 周年記念講演会を行う。また、中部支部設立から現在までの歴代役員や支部大会の記録等を、第 56 回支部大会講演要旨集と、支部ホームページ (<http://www012.upp.so-net.ne.jp/eishoku-chubu/>) にまとめる。

日本栄養・食糧学会中部支部細則(案)

1. この支部は日本栄養・食糧学会中部支部（愛知、岐阜、三重、静岡、長野、福井、石川、富山）と称する。
2. この支部は日本栄養・食糧学会の活動に協力するとともに中部地方における栄養知識の普及向上をはかることを目的とする。
3. この支部の会員を正会員および特別会員とする。正会員は中部地方に在住する日本栄養・食糧学会会員とする。
特別会員は支部の趣旨に賛成し、支部の発展に寄与せんとする団体または個人とする。
4. この支部は第2条の目的を達成するためにつぎの事業を行う。
 - 1) 研究発表会
 - 2) 講演会
 - 3) その他、この支部の目的達成に必要な事業
5. この支部につぎの役員をおく。
 - 1) 支部長 1名
 - 2) 支部評議員 若干名
 - 3) 監事 若干名
 - 4) 幹事 若干名
6. 支部長は支部役員会にて選出し、支部総会の承認を経て決定する。支部長は本支部を代表し会務を処理する。
7. 支部評議員および監事は支部役員会の議を経、支部総会の承認を得て支部長が支部会員中よりこれを委嘱する。中部地方に在住する日本栄養・食糧学会評議員および参与（本部評議員）は支部評議員を兼ねるものとする。
8. 支部監事は支部の会計を監査する。
9. 支部幹事は支部役員会の議を経て支部長が委嘱し、支部長の行う会務を補佐する。
10. 支部役員会は上記役員をもって構成する。本会は支部長が招集して適宜開催し、支部運営に関する重要事項を議する。
11. 支部役員会は本部評議員中より本学会理事若干名を推薦する。
12. 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
13. 支部長主催のもと年1回支部総会を開き、重要事項を議決する。ただし、必要のある場合には臨時に総会を開くことができる。
14. この支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わる。

付 則

1. この支部の事務局は、支部長の所属する機関に置くものとする。
2. 特別会員の会費は年間1万円以上とする。
3. 日本栄養・食糧学会中部支部会則（昭和43年4月1日制定）は廃止する。
4. 平成7年5月18日施行、平成20年11月15日改正

各支部長 殿

H21年度計画提出依頼の件

日本栄養・食糧学会
会計理事 田所 忠弘

前略

日頃の支部活動のご尽力感謝いたします。

ご存じのように来年度から文科省へ提出の事業計画・収支計画は本部・支部合算の計画書を出すことになっており、また、12月1日の新制度移行のためにも重要な作業となっております。

本部の年度計画は、2月末までに事業計画・予算計画を作成し3月の理事会に諮っております。

支部に於かれましても年度計画を2月末までに機関（組織）決定されて、その計画書を本部事務局まで報告の程宜しくお願い致します。

様式は問いませんが、「支部会計について」の別紙4、5を参考にしてください。

H20年度会計報告のスケジュール（確認）

「支部会計について」のスケジュール（p3）について、物理的に無理がありますので（北海道支部会計担当 比良 徹 先生指摘）下記スケジュールでお願いいたします（顧問税理士と確認済み）

— 記 —

1. 3月末締めで会計報告書を作成
2. 本部に提出（税理士の確認）
3. 支部で監査を受ける
4. 本部に報告
5. 5月の総会（本部）で承認
6. 支部総会で報告（北海道支部の場合は例年10～12月）

確認事項：①支部会計年度が4/1～3/31になっていること（支部細則記載）

変更後の支部細則を本部事務局へご送付願います。

②「支部会計について」（H20年3月8日説明会資料）の継承と実施

草々

年度計画・報告の支部承認時期について

年度計画(事業計画・収支計画)

	現 行 (平成 20 年度の例)	変更後 (平成 21 年度の例)	
原案作成		前年度の秋 (平成 20 年 10 月)	
支部評議員会(11 月)		前年度の支部評議員会 (平成 20 年 11 月)	①承認
支部総会(11 月)		前年度の支部総会 (平成 20 年 11 月)	
本部に報告		前年度の 2 月 (平成 21 年 2 月)	
<u>3 月末締めで年度計画完成(4 月)</u>	<u>該当年度の 4 月</u> (平成 20 年 4 月)	<u>該当年度の 4 月</u> (平成 21 年 4 月)	
総会(全国大会)で承認(5 月)	該当年度の総会 [支部詳細なし] (平成 20 年 5 月)	該当年度の総会 [支部詳細あり] (平成 21 年 5 月)	
支部評議員会(6 月)	該当年度の支部評議員会 (平成 20 年 7 月)	該当年度の支部評議員会 (平成 21 年 6 月)	②報告
支部総会(11 月)	該当年度の支部総会 (平成 20 年 11 月)	該当年度の支部総会 (平成 21 年 11 月)	

年度報告(事業報告・収支報告)

	現 行 (平成 19 年度の例)	変更後 (平成 20 年度の例)	
原案作成		該当年度の秋 (平成 20 年 10 月)	
支部評議員会(11 月)		該当年度の支部評議員会 (平成 20 年 11 月)	審議省略
支部総会(11 月)		該当年度の支部総会 (平成 20 年 11 月)	
<u>3 月締めで年度報告完成(4 月)</u>	<u>次年度の 4 月</u> (平成 20 年 4 月)	<u>次年度の 4 月</u> (平成 21 年 4 月)	
本部に報告		次年度の 4 月 (平成 21 年 4 月)	
総会(全国大会)で承認(5 月)	次年度の総会 (平成 20 年 5 月)	次年度の総会 (平成 21 年 5 月)	
支部評議員会(6 月)	次年度の支部評議員会 (平成 20 年 7 月)	次年度の支部評議員会 (平成 21 年 6 月)	①承認
支部総会(11 月)	次年度の支部総会 (平成 20 年 11 月)	次年度の支部総会 (平成 21 年 11 月)	

例) 平成 21 年度支部総会(平成 21 年 11 月)
 審議事項: 平成 20 年度報告・平成 22 年度計画
 報告事項: 平成 21 年度計画

平成 21 年度 事業計画(案)

平成 20 年 11 月 15 日

1. 支部大会

(1) 第 57 回支部大会

日 時 平成 21 年 6 月 日時未定
会 場 未定
内 容 講演会・シンポジウム 懇親会

(2) 第 58 回支部大会

日 時 平成 21 年 11 月 日時未定
会 場 未定
内 容 総会 講演会・シンポジウム 懇親会

2. 評議員会

(1) 平成 21 年度第 1 回評議員会

日 時 平成 21 年 6 月 日時未定
会 場 未定

(2) 平成 21 年度第 2 回評議員会

日 時 平成 21 年 11 月 日時未定
会 場 未定

3. 次期役員選出

平成 21 年度支部総会(平成 21 年 11 月開催予定)において、平成 22・23 年度支部役員(支部長・庶務幹事・会計幹事・監事)・理事・本部評議員・参与を選出する。これにともない、中部支部正会員による理事候補者選挙を行う。

平成 21 年度 予算(案)

平成 20 年 11 月 15 日

平成 21 年 4 月 1 日より平成 22 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額
会費収入	
特別会員会費(10,000 円×15 社)	150,000
事業収入	
大会関係費	
懇親会負担金(2,000 円×50 名)	100,000
補助金収入	
学会本部補助金(平成 20 年度実績)	498,500
学会活動強化費(平成 20 年度実績)	250,000
雑収入	
受取利息	1,000
当期収入合計 (A)	999,500
前期繰越収支差額(見込額)	750,000
収入合計 (B)	1,749,500

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額
事業費	
支部大会開催費	
会場費	30,000
人件費	50,000
会議費	100,000
旅費・交通費	100,000
印刷費	100,000
懇親会費	200,000
通信費	30,000
諸謝金	200,000
雑費	10,000
管理費	
会議費	50,000
旅費・交通費	10,000
通信費	70,000
消耗品	30,000
諸謝金	10,000
雑費	10,000
本部会計繰出金	0
当期支出合計 (C)	1,000,000
当期収支差額 (A)－(C)	-500
次期繰越収支差額 (B)－(C)	749,500

学会活動強化費および大幸財団助成について

平成 20 年度学会活動強化費 250,000 円

平成 20 年度大幸財団助成 80,000 円

日本栄養・食糧学会 中部支部

支 部 長 早瀬 和利（愛知教育大学教育学部）

庶務幹事 池田 彩子（名古屋学芸大学管理栄養学部）

会計幹事 辻岡 和代（桜花学園大学保育学部）